

第17回

満月の夜開く けいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」

昔から祭りは満月の夜に開かれてきました。“けいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」”は、そんな満月の夜に「文明の未来と人類の幸福」について考える会です。高等研の庭にはゲーテの胸像があります。その視線は「フクシマ」のほうを見やりつつ、近代文明の現状を憂いているかのようではありませんか。

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋的文化を総合する」ことにあります。ゲーテの胸像はその理念のシンボルです。今宵、ゲーテに立ち返りながら、近代科学文明のあり方を一緒に再考してみませんか。

(2013年8月21日開催の発足会案内より抜粋)

日時： 2014年 **12月4日(木)** 18:00~20:30

場所： **公益財団法人国際高等研究所**

講演： 未来社会をいかに拓くかー未来社会を担う新しい人間像を探るー (Part I)

伝統文化と未来社会

講師： **笠谷 和比古** 先生

【講演要旨】

日本には伝統社会で生み出された文化・芸術財が膨大に存在している。そしてそれらは世界文化遺産として認定されるものが数多く存在するように、世界的に高い評価を得ている。しかしそれらは現代文化とは見なされず、博物館に陳列されるものとして、保存対象という観点で扱われている。この分断と遮蔽は何故に生じたのか。これら膨大な伝統文化芸術財を過去のものとしてではなく、現代社会の戦略的資源として活用し、そこから未来を切り開いていくという方途について考える。

【講師略歴】

1949年生まれ。国際日本文化研究センター教授。専門は歴史学（日本近世史、武家社会論）。近世の国制と天皇制、武士道の思想と行動形態などを研究テーマとする。また、日本の膨大な伝統文化の財産を、現代の資源として活用する応用・実践のプロジェクトを推進。著書に『武士道－侍社会の文化と倫理』『伝統文化とグローバリゼーション』『武家政治の源流と展開』などがある。



参加費： **2,000円** (交流・懇談会費用を含む)

定員： **40名** (先着順)

申込： 「参加申込書」(裏面)によりお願いいたします

URL： <http://www.ias.or.jp/public/goethe.html>

参加申込書

- 下記に必要事項を記入して、FAX 又は郵送でお申し込みください。
- E-mail でのお申し込みの場合は、以下の内容を記載してお申し込みください。
- なお、申込書記載の個人情報は、当会の開催ご案内等を行うために使用させていただきますが、外部に公開することはありません。

◆ お問い合わせ、お申し込み先 ◆

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地

公益財団法人国際高等研究所 事業部

けいはんな「ゲーテの会」事務局 (担当：竹島)

E-mail : goethe0828@iias.or.jp FAX : 0774-73-4005

第17回 満月の夜開く けいはんな哲学カフェ 「ゲーテの会」 2014年12月4日(木)開催		
お名前		
ご所属		
部署		
役職		
連絡先	ご住所	
	TEL	FAX :
	E-mail	

■ 会場案内

